



普通科



平成 24 年度「学力向上フロンティア校」に **5年連続**指定！
自主性・自立心を育てる取組を通して、バランスのとれた人格の形成を目指します。

自分の「みらい」を考える② ～志望理由書講演会～

先月号では、「みらい」について考えることをテーマに、1年生の職業適性検査や「みらい考」を御紹介しました。

3年生では、5月17日に志望理由書を書きました。高校卒業後の希望進路についてしっかりと調べ、深く考え、目標をもって受験に向けて取り組めることから、多くの進学校で取り入れられています。

今回は、生徒の志望理由書を添削していただいた、学研教育みらい学力開発事業部 小論文添削室の岡田真奈美先生に、生徒の実際の作文をもとにした御講演をいただきました。



岡田先生によれば、ある有名大学で講義の単位を取れなかった学生（大学の講義では、1つ1つの科目について合格・不合格があります。）について、なぜ単位が取れなかったのか調査したことがあるそうです。その結果、単位を取れなかった学生の多くは、受験した理由が、有名大学だから、大学の名声や人から薦められて、といったもので、大学入学後も目標を持たず、勉強にも力が入らなかった、というものでした。

高校生の中に、なぜ自分がその大学をめざ

すようになったのか、大学で何を学びたいのか、その後どんな職業に就きたいのかについてじっくりと考えることは、その後の自分を決める重要な学習です。



これは、中学生の皆さんにとっても同じことが言えます。高校を受検するにあたり、なぜその学校を選んだのか、高校でどのような生活を送ろうと思うのか、将来、どのようになりたいと考えているのか。すぐに決められることではありませんが、保護者の方や担任の先生方とよく相談し、納得のできる進路選択をしてほしいと願っています。

福知山高校の生徒は、口をそろえて言います。それは『周りの友達が熱心に勉強しているので、私も刺激を受けて頑張ろうと思える。』『勉強と部活動の両立は大変ですが、充実した高校生活が送れています。』『落ち着いた環境で、しっかりと勉強したいと思っている人にお勧めです。』『先生方が熱意をもって学習をサポートしてくださります。』という言葉です。

8月2日、3日の体験セミナーで、ぜひ福知山高校の生徒や学校の雰囲気、授業の雰囲気を実験してください。そしてあなたの進路選択の1つとして福高を考えてみてください。

福高は、あなたの「みらい」を応援しています。

志望理由書講演会

～熱き思いを伝える志望理由書の書き方～

岡田先生の御講演では、「自分の長所を50字で書いてみよう」など具体的な指摘も大変ためになりました。また、大学受験だけでなく将来の職業選択を視野に入れた、スケールの大きい講演に多くの生徒が魅了され、希望進路への思いを新たにしました。以下は感想文の一部です。



Aさんの感想文

講演を聴いて、私の志望理由書は内容がまだまだ薄いなと思いました。自分がしたいことやそのきっかけはしっかりと書けたと評価していただいたのですが、志望大学のカリキュラムや講義内容を志望理由書の中に盛り込むことが出来ませんでした。実際に志望理由書を書くときには、自分がその大学で取り組みたいと思っている事に関連している情報や志望大学の詳しい内容を盛り込み、「貴大学で学びたい」という自分の熱意と共に自己アピールしていきます。説得力のある文章にするために、どんなときも「具体的」にすることを意識します。

Bさんの感想文

「志望理由書は推薦を受ける人だけが真剣

に書く」というのではなく、「推薦を考えていない人も真剣に考えて書いてみる」ということが大切だと改めて感じました。真剣に考えることで、自分が希望している進路のことがよくわかり、今思っている以上にもっともっと自分が目指している大学に行きたくなるとおっしゃっていて、「なるほどなあ」とすごく納得しました。

Cさんの感想文

とても熱心に講演してくださって、私も期待に応えることができるように、今回の志望理由書の反省をいかして、自己推薦書の作成に努めていきたいと思いました。「この生徒なら合格させても良い」と思ってもらえるような志望理由書を目指します。

Dさんの感想文

私は志望大学に対する思いは誰にも負けないと自負していましたが、今日の講演会で、思いを具体的に書かなければ、読む人には伝わらないということを学びました。自分の思いを相手に伝えることができるように、大学についても、将来就きたい職業についても、詳しく調べようと思いました。

